

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】令和 6 年 5 月 16 日(2024.5.16)

【公開番号】特開 2023-121371(P2023-121371A)  
【公開日】令和 5 年 8 月 31 日(2023.8.31)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-164  
【出願番号】特願 2022-24673(P2022-24673)  
【国際特許分類】

H 0 4 N 23/56(2023.01)

10

H 0 4 N 23/60(2023.01)

H 0 4 N 23/63(2023.01)

G 0 3 B 15/05(2021.01)

G 0 3 B 7/00(2021.01)

G 0 3 B 15/03(2021.01)

G 0 3 B 15/00(2021.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225600

H 0 4 N 5/232300

H 0 4 N 5/232945

20

G 0 3 B 15/05

G 0 3 B 7/00

G 0 3 B 15/03 F

G 0 3 B 15/00 U

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 5 月 8 日(2024.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光器と、カメラと、前記発光器を発光させるためのトリガ信号を前記発光器に出力するトリガ制御部とを有するストロボユニットと、

前記カメラが撮像した撮像画像を含む撮像データを送信対象に送信する通信ユニットと、  
を備え、

前記送信対象は、表示画面を有する外部通信端末、又は前記通信ユニットから送信されたデータを前記外部通信端末に転送する外部サーバであり、

40

前記通信ユニットは、表示部及び入力部を有する入出力装置に前記撮像データを送信するとともに、前記入出力装置に送信した前記撮像データと同じデータを前記送信対象に送信することを特徴とするストロボスコープ。

【請求項 2】

前記通信ユニットは、前記送信対象及び前記入出力装置とテキストデータを授受する請求項 1 に記載のストロボスコープ。

【請求項 3】

前記通信ユニットは、前記撮像データに対して画像処理を行う画像処理部を有し、

前記通信ユニットは、前記送信対象及び前記入出力装置から、前記撮像データにおける

50

特定の位置を示すためのデータであるマーキングデータを受信し、

前記画像処理部は、前記マーキングデータに基づいて、前記撮像データにおける特定の位置を示すための印であるマーカを前記撮像データに対して重畳描写し、

前記通信ユニットは、前記マーカが重畳描写された前記撮像データを前記送信対象及び前記入出力装置に送信する請求項 1 又は請求項 2 に記載のストロボスコープ。

【請求項 4】

前記ストロボユニットと前記通信ユニットとは別体である請求項 1 ～ 3 の何れか一項に記載のストロボスコープ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

10

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記問題点を解決するためのストロボスコープは、発光器と、カメラと、前記発光器を発光させるためのトリガ信号を前記発光器に出力するトリガ制御部とを有するストロボユニットと、前記カメラが撮像した撮像画像を含む撮像データを送信対象に送信する通信ユニットと、を備え、前記送信対象は、表示画面を有する外部通信端末、又は前記通信ユニットから送信されたデータを前記外部通信端末に転送する外部サーバであり、前記通信ユニットは、表示部及び入力部を有する入出力装置に前記撮像データを送信するとともに、前記入出力装置に送信した前記撮像データと同じデータを前記送信対象に送信することを要旨とする。

20

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

30

40

50